

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------------------------|-----|------------|
| ○事業所名 | こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福島校 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 11月 10日 ～ 2025年 12月 20日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 54名 | (回答者数) 29名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 12月 10日 ～ 2025年 12月 20日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5名 | (回答者数) 5名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 8日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的にやっている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 「クラ・ゼミ」の療育を楽しみにしてくれるお子さんが多いです。 | いろいろな気持ちで学校やご家庭から来られているので、楽しく療育内容を取り入れながら、うれしく満足できる活動を大切にしています。 | いろいろな角度からいろいろな療育を進めていき、自分でできる範囲を広げていけるように、支援していきます。 |
| 2 | いろいろな相談を受けて、保護者様と「クラ・ゼミ」で共有しています。 | 保護者様や関係機関との連携を大切にしてい、必要なときに相談に乗れるように職員全体で対応しています。 | 学校での出来事などいろいろな課題に素早く対応していきます。 |
| 3 | 「クラ・ゼミ」での療育が利用児に取って、いつも楽しい、安全な場所になっています。 | 本児のその日の体調や気分に応じて、療育の量や時間を調節して、意欲を持って取り組んでいます。 | 職員が1人1人の利用児の支援時の状態を把握して、ベストの支援を整えていきます。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 保護者間での交流（ママカフェ）や研修会などの機械がないです。 | コロナやインフルエンザなどの感染症があり、なかなか保護者間で集まる機会を持てなかったです。個別の支援や相談に対応していました。 | 個別支援や個別相談が中心で対応していったので、今後は横のつながりや集団でのイベントなどを増やしていきます。 |
| 2 | 支援前後の打ち合わせが行えていたましたが、もう少し時間を取っていきたいです。 | 支援のための教材作りや支援準備に時間を取られていまって、打ち合わせの時間が取りにくい状態です。 | 仕事にメリハリをつけて、時間配分をおこなうことによって、しっかりとした打ち合わせの時間を確保していきます。 |
| 3 | 各利用児さんの療育時間のしっかりとした確保をしてきます。 | 支援のフィードバックの時間に療育について保護者様を詳しく話をしている、おしてことがあります。 | 「クラ・ゼミ」での支援時間は1時間と少ないので、楽しみながら保護者様には的確にお話をしていく中で、時間の確保をしていきます。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福島校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 54

回収数 29

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|--------------------------------------|----|---|----|---------------|-----|-------|---|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 21 | 8 | | | 少しせまいかもしれませんが。 | けがのないように安全に支援を行っています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 23 | 6 | | | マンツーマンで支援を行って頂いています。 | 本児に寄り添った支援を今後も進めています。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 14 | 12 | 1 | 2 | 入口に階段があるので、バリアフリーではないです。 | 安全に支援するために段差などのないように、整えています。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 27 | 2 | | | 清潔です。 運動をすると壊れないか心配になります。 | 毎日清掃をして支援に取り組んでいます。安心した運動ができるように注意しています。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 25 | 4 | | | 専門の知識のある指導員さんについて頂いています。 | 今後も内部研修や外部研修を行い、指導員のレベルの向上に努めてまいります。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 28 | | | 1 | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 29 | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 25 | 3 | | 1 | 具体的です。 | 1人1人の現状に合わせて、具体的に支援を今後も整えていきます。 |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 28 | 1 | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 21 | 5 | 1 | 2 | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 2 | 2 | 17 | 8 | 個別で支援して頂いているので、地域やクラブ等との交流の必要性を感じていないです。 | お子さまや保護者様に合わせてその都度対応していきます。 |
| | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 29 | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 28 | 1 | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 6 | 6 | 6 | 10 | はつけんラボの紹介があり、興味があれば情報収集したりできます。研修会やワンポイントアドバースが書かれたお便りがほしいです。 | 今後も相談や研修会などを通して、情報共有していきます。 今後、お便りを用意していきます。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。 | 27 | 2 | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 22 | 5 | 2 | | | 毎回の支援の後にフィードバックの時間を取り、保護者様とお話をする時間を取っています。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 25 | 3 | 1 | | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 4 | 4 | 13 | 8 | | きょうだい同士の交流する機会を取っています。 |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--|---|---|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 27 | 1 | | 1 | | 保護者様からの相談にはその都度対応しています。必要に応じて学校などに保護者様と一緒にいき、いろいろな話をしています。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 28 | | | 1 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 18 | 7 | | 4 | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 27 | 1 | | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 20 | 5 | | 4 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 23 | | | 6 | | 毎月一回避難訓練を行っています。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 24 | 2 | | 4 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 23 | 3 | | 3 | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 28 | 1 | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 27 | 2 | | | ペースよく通うことができ、本児も楽しみにしています。 | 今後も楽しみながら支援を行っていきます。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 28 | 1 | | | 困りごとがあれば相談に乗っていただき、解決策が見えてくるので、とても助けられています。 | 今後も保護者様が必要なときにすぐに対応できるように努めていきます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | こどもサポート教室「クラ・ゼミ」福島校 | | | | |
|---------|----|--|----|-----|---|-----------|
| | | 公表日 2026 年 2 月 14 日 | | | | |
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | 職員数は少し足りない時はあるが、職員同士が連携して支援に取り組んでいます。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 毎日清掃を行い利用児に気持ちよく療育を行ってもらえるようにしています。整理整頓もその都度行っています。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 評価表や日頃の保護者様とお話を通して、より良い校舎になるように、業務改善を進めています。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | 外部評価は行っていないが、毎年保護者様や職員の評価を公表しています。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | 支援後のフィードバックや相談の時に保護者様からお話を聞いて、1つ1つ目標や内容を作成しています。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 毎年1回アセスメントを行っています。支援があるときは保護者様からの相談や要望も含めて取り組んでいます。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 支援の目標や内容を踏まえながら、日々の支援では具体的な支援課題に取り組んでいます。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 職員間で話し合いながら進めています。 | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|--|---|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 個別活動を中心に取り組み、必要に応じて集団も行っています。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 1人1人の支援に合わせて、その時に必要な支援内容になるように、職員全体で取り組んでいます。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | その日に打ち合わせをおこなったり、次の日に行って職員間で共有しています。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | その日に記録を取ることを徹底していますが、難しいときには次の日に記入しています。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 担当者会議や関係機関の会議には児発管や各職員が参加し、本児の状況を伝えています。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 必要に応じて保護者様とお話を行う中で、いろいろな関係機関と連携して支援の体制を整えています。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 保護者様や学校、相談支援などと連絡調整して、学校等で会議の場所を設けてその時その時に必要な支援をしています。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | 学校の変更や学校の進学に向けて、必要な療育についての資料を提出しています。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | ○ | 担当の先生とお話しています。 | 地域の活動jに参加できていないので、参加できるように進めています。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | ○ | 個別の相談には保護者様の要望に応じて、その都度対応しています。 | コロナやインフルエンザなどの感染症が落ち着いてきたので、今後ご家族が参加できるママカフェや研修を行っています。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | 支援内容の説明を行いながら、計画の同意を行っています。 | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | きょうだい同士の交流する機会をその都度行っています。 | 今後は保護者様同士で交流できる機会を増やしていきます。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 毎回の支援の時にフィードバックを行い、保護者様の要望を聞いています。また、学校での困りごととは時間を取って対応しています。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | HPやSNSなどで「クラ・ゼミ」福島校の情報を発信しています。 | 今後も継続してHPなどで「クラ・ゼミ」福島校の情報を発信していきます。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 支援後のフィードバックや相談を行い、必要であれば別日に保護者様と相談する時間を取っています。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | 個別支援を中心に行っているため、なかなか情報を発信できていません。今年は大学生に「クラ・ゼミ」福島校の校舎に来ていただいて、療育について見ていただいています。 | 大学の実習生も受け入れているので、いろいろな地域の方に見ていただけるように整えていきます。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 契約時を中心に服薬や利用児の状況を確認しています。また、途中で変更もあるのでフィードバックなどで保護者様とお話をしています。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | 必要に応じて食物アレルギーや薬などの命に関わることについては、保護者様とお話をしています。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 毎年、虐待防止委員会や虐待防止研修を行っています。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | | |